

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P6 今月もさまざまなセミナーをご用意して皆さまをお待ちしています



みなさま、こんにちは。絶妙なタイミングで、再び「黒田バズーカ」が放たれましたね。米国の量的緩和の終了宣言した直後に日本の量的緩和の姿勢を世界に示すことに成功し、7-9月期GDP速報を経て消費税の引き上げの最終決断で「アベノミクス」のコミットメントを政府が表明する舞台を用意しました。

目先の点数を取りに行くという意味では、見事な優等生です。

ただ、年間80兆円という国の一般会計に匹敵する金額の国債を政府機関である日本銀行が買い入れる奇策は長期的にどのような影響をもたらすのか。まさに、異なる次元に入りました。

そういう長期的な意味を踏まえて、コモンズ30ファンドが掲げる「30年投資」について考えを改めて示したいと思います。

「30年」先のことについて誰も正確な答えを出せる訳がありません。でも、わからないからと思考停止することは、まだ生まれていない未来世代への責任放棄だと思えます。また、平均点に満足することは、自分の可能性を損ねる限界線を自ら引くことです。

大事なことは、受験勉強のような「間違いない答え」ではなく、「正しい問い」です。

対話を通じて「正しい問い」に努めることが「30年投資」の精神であり、単純な「バイ・アンド・ホールド」でもありません。改良すべきところは、常に改良します。

「30年投資」とは、「現在」の自分という利己の枠を
コモンズ投信株式会社

渋澤と伊井の「今月の想い」



越えて、「未来」の自分や次世代という利他のマインドセットを持つ投資です。

毎日、毎日の積み重ねで「30年」先は、必ず、「現在」になる。

ということは、私たち一人ひとりの日々の想いと行いによって、「30年先」が形成されます。一人ぼっちでは何もできません。しかし、一人や少数からコトが始まり、多くの仲間が増えれば社会は必ず変革します。

30年の「目線」を持つということは、「今日よりも、よい明日」という30年の「ビジョン」を掲げ、様々な手段を通じて日々実践することです。単なるスローガンではありません。

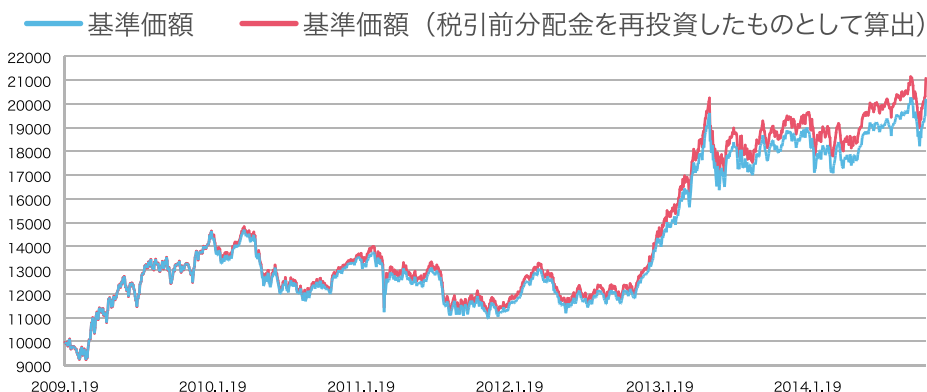
コモンズの設立の背景や理念については、新著の「渋澤 栄一 愛と勇気と資本主義」に詳しく紹介していますので、是非、ご覧ください!



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

■ 基準価額の推移



■ ファンドのデータ

(2014年10月31日付)

基準価額	20,210円
純資産総額	5,111百万円
受益権総口数	2,529百万口

※純資産総額のグラフは7ページ参照

■ 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2014年10月31日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.70%	4.52%	15.05%	12.86%	75.46%	110.71%

■ 直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)
120円	130円	0円	200円	200円

■ 投資行動とパフォーマンス(組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります)

◎10月の組入れ銘柄(組入れ銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

10月末の組入れ銘柄は、前月と同様に28銘柄となりました。30ファンド「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き全売却候補1銘柄と新規買付候補2銘柄を提案しました。全ての提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

◎10月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

10月末の株式組入比率は94.3%となりました。残り6%程度はキャッシュを持っています。初旬は94%程度でしたが、中旬にかけては株価下落などにより91%台まで下落しました。株式市場が月間最安値を付けた10月17日に94%後半まで引き上げ、その後は月末にかけて94%前後で推移しました。

◎10月の組入上位10銘柄と投資行動

新規にトップ10に入った銘柄は、「ヤマトホールディングス」、「マキタ」、「楽天」、「東レ」、「ダイキン工業」の5社です。主な投資行動としては、中旬にかけて株価下落によって組入比率3.3%以下となった銘柄を中心に買い増すなどのトリミング(組入比率の調整)を行いました。

◎10月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

10月のファンド月間リターンは0.70%の上昇となりました。参考指標として、同月のTOPIXは0.55%上昇しています。ファンドの月間リターンがTOPIXと同水準となった要因は、「ヤマトホールディングス」、「味の素」、「シスメックス」などがTOPIXを上回るリターンとなった一方、「楽天」、「マキタ」などがTOPIXを下回るリターンとなったことなどによるものです。なお10月末で投資している28銘柄の内、月次株価騰落率がプラスとなったのは15銘柄、マイナスとなったのは13銘柄です。

◎運用・調査体制について

是非、8ページ目をご確認下さい。

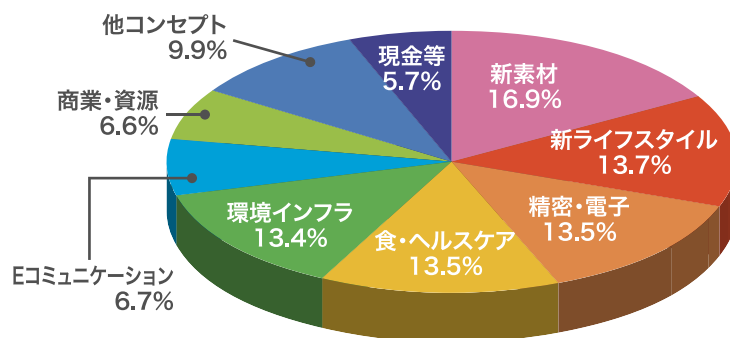
運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式	94.3%	+0.2%
現金等	5.7%	▲0.2%
構成銘柄	28社	0社

未来コンセプト別構成比

(2014年10月31日付)



※未来コンセプトは全10種類。詳細は8ページ参照

組入上位10銘柄

(2014年10月31日付)

銘柄名 [コード]	未来コンセプト	概要
SMC [6273]	精密・電子	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップです。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長しています。
ヤマトホールディングス [9064]	新ライフスタイル	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。
マキタ [6586]	新ライフスタイル	リチウムイオン電池など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮をした製品開発を行い、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得しています。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も充実しており、先進国では原則3日に対応可能な修理体制を構築しています。
ユニ・チャーム [8113]	食・ヘルスケア	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
旭化成 [3407]	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
シスメックス [6869]	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
楽天 [4755]	エココミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。
東レ [3402]	新素材	レーヨンの生産から始まり、多角化しながら発展。繊維での縫製品事業や炭素繊維複合材料は顧客との強いコネクションを持ち、高い成長が期待されます。自前主義にはこだわらず、M&Aやアライアンスにも積極的。先端材料No.1企業目指し邁進しています。
ダイキン工業 [6367]	環境インフラ	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力も抜群です。

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

10月はヤマトホールディングスの株価が、9月末比で15.58%上昇とコモンズ30ファンドのなかで、最も大きく上昇しました。株価にインパクトを与えたのは、10月30日15時の上期決算と同時に発表した自社株買いの方針です。翌31日の株価は1日で約10%上昇しました。

キャッシュリッチの会社は、自社株買いを打ち出す余力があり、株式市場にサプライズを起こすことができます。主力の宅配便で、天候不順などにより取扱個数が伸び悩んでいることや人件費上昇がクローズアップされ、株価は8月が1%下落、9月が5%下落していましたが、株式市場の見方が一変しました。

自社株買いは、ROEを高めるだけでなく、経営者が実態に比べ株価が割安と考えていることや、業績の先行きに対し自信を持っていることなど強いメッセージ性があります。今回の自社株買いは、同社が過去に実施した自社株買いの規模を上回る1650万株、300億円を上限としています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	銘柄名	ニュース
10月16日	クボタ	クボタは米国で大型農機に参入します。約100億円を投じて新工場を建設し2017年をメドに稼働させる予定です。北米は4兆円とされる世界の大型農機市場の4割を占めます。クボタは現在の主力とする小型農機に加えて大規模な穀物農場で使われる大型農機を現地で生産し、米ディアなど世界の大手を追撃します。
10月16日	味の素	味の素はバイオ医薬品の製造に必要な「培地」を生産する韓国の新工場を20日から稼働させます。培地は培養する動物細胞に栄養分を供給するもので薬の開発に欠かせません。味の素の氨基酸技術をいかし、細胞の特性に合わせたオーダーメイドの培地を作ります。製薬企業から受注し2020年までに100億円超の売上高を目指しています。
10月16日	ホンダ	ホンダは10月16日、小型航空機エンジン事業で世界シェア3割を目指す方針を明らかにしました。機体メーカーや中古機のエンジン交換を手がける企業などにエンジンを外販し、プラット&ホイットニー(P&W)など米エンジン大手に対抗して事業を拡大していきます。
10月24日	コマツ	コマツは自動で整地や掘削作業ができる油圧ショベルを日米欧市場に投入します。全地球測位システム(GPS)やセンサー技術などを駆使し、地面を掘る作業の制御を機械が受け持ちます。複雑な作業が可能となり、熟練作業員の不足を補えるほか、作業の効率化で稼働台数の削減にもつながります。作業員の高齢化や人手不足に悩む日本など先進国での普及を目指しています。
10月24日	日揮	日揮と千代田化工建設がそれぞれインドネシアの液化天然ガス(LNG)プラントの基本設計を英石油大手BPから受注することが固まりました。プロジェクトの事業総額は1兆2000億円規模。BPは2社の設計内容を精査し、2015年中に機材調達や建設会社を選びます。日本勢の受注はほぼ確実な情勢です。
10月28日	楽天	楽天は丸紅や新電力最大手のエネット(東京・港)などと組み、家庭の節電を支援するシステムを開発します。専用機器で電力消費を把握し、楽天のデータ解析技術を加味し効果的な省エネ方法などを指南します。電力販売に新規参入する企業に顧客開拓の武器としてシステムを提供します。楽天には消費者の生活データを幅広く集め、新サービス開発につながる狙いもあります。
10月29日	資生堂	資生堂は中国の化粧品事業をてこ入れします。来春までに上海市に研究所を新設して中国向け商品の開発機能を移すほか、約100億円かけて取引先の在庫圧縮に取り組みます。中国事業は同社の収益源だったが、成長が鈍っており、これらの対策で2014年3月期に1115億円だった中国事業の売上高を20年までに2000億円規模にする予定です。
10月29日	セブン&アイHD	セブン&アイ・ホールディングスは、グループのスーパーや百貨店などで扱う商品を消費者がインターネットで購入し、コンビニエンスストアで当日に受け取れるようにします。月内に稼働させる物流拠点を活用し、まず2015年中に首都圏の7千店で可能にします。ネット通販企業は価格や品ぞろえを競ってきたが、日本最多の店舗網を活用するセブン&アイが本格参入することで、早く便利な受け取りの仕組みづくりが競争の軸になりそうです。
10月30日	楽天	楽天は29日、格安スマートフォン(スマホ)事業に参入すると発表しました。無料対話アプリやポイントなどと組み合わせる新サービスを提供、3年程度で1千万台の販売を狙う。ネット通販「楽天市場」に代表される各種サービスにつながる基盤とします。楽天は9千万超の会員を抱えるが、ネットは事業環境の変化も激しい。ハードの分野に踏み込むことで「楽天経済圏」の活性化をめざします。

メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
10月5日	日経電子版	マネーブログ カリスマの直言「個人の長期投資をテコに地域創生を」に渋澤が寄稿しました
10月5日	GOODWAY	「第6回コモンズ社会起業家フォーラム」の様子取材いただきました
10月6日	日経CNBC	日経ヴェリタストークに渋澤が出演しました
10月7日	日経新聞	朝刊21面銘柄診断「日本電産」に糸島がコメントしました
10月11日	テレビ東京	マネーの羅針盤「ブルベア羅針盤」に糸島が出演いたしました
10月13日	読売新聞	「七転び八起き」で伊井を紹介いただきました
10月17日	日経電子版	「嵐の中でバリュー投資 長期保有、買いの好機に」でコモンズ投信と糸島を取り上げていただきました
10月17日	日経新聞	「スクランブル」でコモンズ投信と糸島を紹介いただきました
10月18日	日経新聞	M&Iで「こどもトラスト」を取り上げていただきました
10月20日	ラジオ	インターネットラジオ 幸せ発信局 『笑顔でhug パラダイス』に糸島が出演しました
10月27日	日経新聞	発掘 長期保有株(4)「安全性と割安 優良銘柄は地方に眠る 米投資家グレアム氏に学ぶ」で糸島がコメントしました
10月27日	BSジャパン	「日経朝とく」に糸島が出演いたしました

11月16日～24日 東京・渋谷にてブラインドサッカー世界選手権開催!

10月4日、今年も年に一度のコモンズ社会起業家フォーラムを大盛況のうちに開催させていただくことができました。11人の登壇者たちによる7分間スピーチリレー、SEEDCap授賞式に、参加者の方々からも多くの熱き感想のメッセージが届いています。ブログやVTRでご紹介中です。是非ご覧ください!

ブログ <http://park.common30.jp/2014/10/6.html>

VTR <https://www.youtube.com/watch?v=TZoUz6f5y7I>

そしてお知らせです!登壇者のひとり松崎英吾さんが事務局長を務める日本ブラインドサッカー協会は、今月東京・渋谷でブラインドサッカー世界選手権を開催します!ブラインドサッカーにとって、目指すべき最高峰の舞台は2つ。1つはパラリンピック。そしてもう1つがこのブラインドサッカー世界選手権(いずれも4年に一度開催)。今大会は、日本ではもちろん、アジアでも初開催の世界選手権で、世界から予選を勝ち抜いた12ヶ国が来日し、その技を競います。ぜひこの機会に、多くの方々に大会ボランティアや観戦を通してブラインドサッカーについて知っていただけたらと松崎さんをはじめ協会メンバーは願っています。

詳細・チケット購入はこちらからどうぞ!<http://www.wc-blind-football.com/#top>

マーケティング部 馬越 裕子



日本ブラインドサッカー協会 事務局長 松崎 英吾さん

セミナーでコモンズを体験しませんか!?

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ～はじめて編～	11月22日(土)	13:30～15:30	TKPガーデンシティ名古屋新幹線口
はじめてのコモンズ～ファンド編～	11月22日(土)	16:00～18:00	
はじめてのコモンズ～投資ビギナーズ編～	11月14日(金)	10:30～12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
パパとママのためのこどもトラストセミナー	11月26日(水)	19:00～20:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
くつろぎBAR	11月19日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
年末くつろぎBAR	12月17日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区 (オーバカナル紀尾井町店)
渋澤健 新著出版記念セミナー	11月7日(金)	19:00～21:00	福岡県福岡市(福岡ビル)
	11月15日(土)	10:00～12:00	静岡県静岡市(ホテルASSOCIA)
	11月21日(金)	18:30～20:00	名古屋市中区栄 (ジュンク堂書店 ロフト名古屋店)
	12月8日(月)	19:00～20:30	東京都中央区(八重洲ブックセンター)
「企業との対話」ワークショップ	11月17日(月)	19:00～20:30	東京都千代田区(21C クラブ)
コモンズ30塾アフリカセミナー～丸紅～	12月3日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(21C クラブ)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

お知らせ

「渋澤健 新著出版記念 つみたて&こどもトラストキャンペーン」

11/4(火)～12/30(火)まで、つみたて&こどもトラストキャンペーンを行います。対象の方には素敵なプレゼントをご用意させていただきます。詳細は弊社ウェブサイトか、こちらをご覧ください。

<http://www.common30.jp/pdf/news/201411-12campaign.pdf>

■ 今月のコモンズは!

皆さま、こんにちは! 今月もコモンズレターをお読みいただきありがとうございます。コモンズ投信では、11月4日から、新しいキャンペーンがスタートしました。題して、「渋澤健 新著出版記念 つみたて&こどもトラストキャンペーン」です(<http://www.common30.jp/pdf/news/201411-12campaign.pdf>)。11月6日に渋澤の新著「渋沢栄一 愛と勇気と資本主義」が上梓されました。これは渋澤がヘッジファンドを退社した後、2008年の「コモンズ投信」設立に至るまでの活動や、現在の想いがたっぷり詰まった内容になっています。なぜ新著の出版で、“つみたて&こどもトラストキャンペーン”なのか?、このあたりはブログ(http://park.common30.jp/2014/10/blog-post_31.html)でご紹介しておりますので、ぜひお読みください。また、今月は、オムロン株式会社や、エーザイ株式会社をお迎えして統合レポートを読み解くワークショップセミナーや、12月は丸紅株式会社とのアプリカセミナーも企画しています。引き続き「企業との対話」「お客様との対話」を通じてコモンズ30ファンドを皆様により知っていただく取組を続けてまいります。皆様のご参加、お待ちしております!

マーケティング部 福本 美帆

■ お客様の声

セミナー参加者からコモンズへいただいたメッセージをご紹介します。

参加セミナー：第6回社会起業家フォーラム



コモンズ投信への参加者が増えれば、応援資金が増えるということがわかりました。コモンズの理念が実践され、具現化された素晴らしい仕組みだと思います。

投信と社会貢献とのつながりを知れて大変に感銘を受けました。ありがとうございました。



興味深い話が多く参加できて良かったです。パッションがすごかったです。持ち帰って何か出来るか考えたいです。

参加セミナー：こどもトラスト「寄付の教室」with日本ファンドレイジング協会



子供と一緒に大人も寄付について学べる形が良かった。ワークが面白かったです。

世界には僕の想像以上にいっぱいこまった人がいるんだと思った。



参加セミナー：はじめてのコモンズ～投資ビギナーズ編～



何か投資をしてみたいと思っていて何もしていなかったところ、セミナーにお誘いいただいて参加しました。自分にあった商品を知ることが出来ました。

小学4年生
男の子

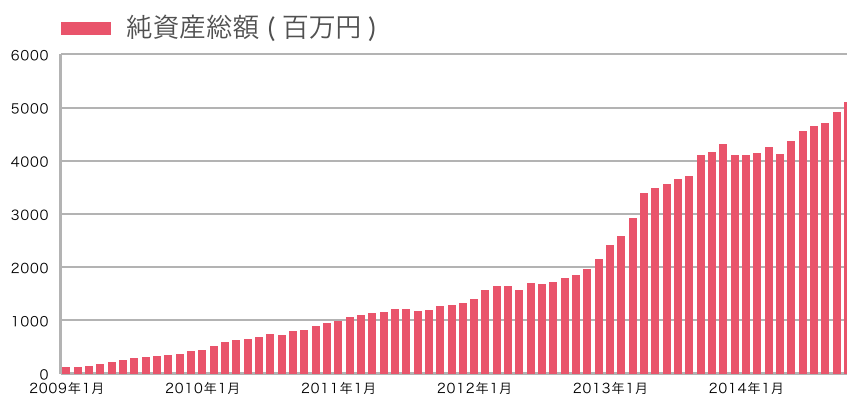
■ お客様のデータ

(2014年10月31日付)

顧客数	4644人	(+77)
うち積立	2831人	(+40)

()内は前月比

■ 純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10～20%の現金比率の決定
渋谷 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%～4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

■ コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

■ コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時) 03-3221-8730	■ メール commons-call@commons30.jp
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2061 号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		